

取組名称	ジャケット構造による係留施設の整備
副題（任意）	
取組実施年度	
開発段階	<input type="checkbox"/> 構想 <input type="checkbox"/> 研究開発 <input type="checkbox"/> 実証 <input checked="" type="checkbox"/> 実装
取組実施場所	<input checked="" type="checkbox"/> 港湾区域・臨港地区内 <input checked="" type="checkbox"/> 港湾区域・臨港地区外（臨海部） <input type="checkbox"/> 港湾区域・臨港地区外（その他）
区分 （複数選択可）	<b>脱炭素化に配慮した港湾機能の高度化：</b> <input type="checkbox"/> ターミナル内 <input type="checkbox"/> 出入り車両・船舶 <input type="checkbox"/> その他
	<b>港湾における水素、燃料アンモニア等の受け入れ環境の整備：</b> <input checked="" type="checkbox"/> 係留施設・荷さばき施設 <input type="checkbox"/> 貯蔵・配送設備 <input type="checkbox"/> その他
	<b>その他、港湾・臨海部の脱炭素化に関するもの：</b> <input type="checkbox"/> 吸収源対策 <input type="checkbox"/> 臨海部立地産業の脱炭素化技術 <input type="checkbox"/> その他
概要①	従来からあるラーメン構造の直杭式栈橋と比較して、水平剛性の高い鋼管トラス構造のため、15m~20mとの比較的深い水深、厚い軟弱地盤でも地盤改良など不要となり経済的となる
概要②	ジャケットは管理の行き届いた工場で作成されるプレキャスト構造。現地では起重機船により一括架設され現地施工期間が短い。また工場で作成されるステンレス鋼被覆を施すことで、50年以上のメンテナンスフリー仕様とすることも可能。
新規性	海外の石油開発向けに大水深、大荷重の厳しい条件で多くの実績のあるジャケット構造を国内港湾施設向けに展開したもの。
効果	上記特長により国内港湾施設でも民間エネルギー関連施設、港湾施設、空港施設、橋梁などで多くの実績を有する。
概略費用	水深、地盤、接岸船舶などにより異なる。

取組名称	ジャケット構造による係留施設の整備
取組体制	日鉄エンジニアリング株式会社
適用範囲 (任意)	大水深、軟弱地盤、現地短工期の条件下では特に特長を發揮しやすい
制約条件	特になし
関連法令等	
その他 (任意)	
概要写真・図表	<p>* マニュアル掲載の際の写真は別途相談</p>
登録者名/団体名	日鉄エンジニアリング株式会社
問合せ先	都市インフラセクター 港湾・インフラ営業部 海洋港湾鋼構造営業室 永濱淳 tel:080-1110-3186 e-mail:nagahama.atsushi.f5g@eng.nipponsteel.com
記入年月日	令和4年12月27日